

	委員 1	委員 2	委員 3
<p>福井市地域生活活性化会議</p>	<p>減便、廃線への緊急確保について、高校生の進学の意思決定にも影響があると思うが、4月以降はどのように対応を行うか？</p> <p>→3ヶ月の利用実績や、聞き取りによって高校生の乗車場所を把握している。高校生の利用が見込まれるところを残し、そうでないところは見直しを図る予定だ。</p> <p>高校を決めるときに重要な情報になると思うので、「通学の高校生がいないからやめよう」というだけではない取組を求めたい。</p> <p>自治会による輸送について、事業継続性をどう確保するか。</p> <p>→安居地区での福祉車両活用の取組は、高齢者施設の職員がドライバーとなっている。それだけでは継続性が不安のため、地元の高齢者へのドライバーの協力の周知を図ることをしている。</p> <p>市として継続性の担保に関わって欲しい。</p>	<p>フルデマンドタクシーの登録者は増えているが利用者は伸びていないということだが、その要因は？</p> <p>→一部の固定客がいるが、認知度不足と思う。</p> <p>周知不足では登録も伸びないと思うが？登録はしているが利用は伸びないという事なら認知度不足以外の原因があるのではないか。</p> <p>→使い方に問題がある。事前登録制のため、手続きの煩雑さも要因だと思う。</p> <p>登録しているが利用していない人の状況などを踏まえて、改善していただければと思う。</p>	<p>市として減便をどのように受け止めるのか。減便を既定路線と考えるのか、元に戻そうとするのか？</p> <p>→輸送量が多い路線については元に戻したいが、郊外部の運転手が充てられないところについてはデマンドの導入検討や、多様な輸送資源の活用、地元ドライバーで運行ということも考えていきたい。</p> <p>大幅減便されたところの利用者は、今どのように移動しているか？</p> <p>→待ち時間が増えるなど利便性が低下しているが、大幅な利用減は見られていない。</p> <p>持続可能な公共交通の維持のために、福井市として描いている公共交通の姿と照らし合わせてやるべきことは何か？</p> <p>→一部の地区での路線が重複の整理などを行った上で、バス会社に担ってもらうところ、地元で担ってもらうところ、この辺りを整理していきたい。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
<p>坂井市地域公共交通会議</p>	<p>路線バスにして、枝葉の部分はデマンドでカバーするコンセプトと理解した。デマンドの運行が8時からとなると高校生の通学には使えない可能性があり、そうなるとう末端部分での高校生の利用はしづらくなった可能性がある。高校生の移動実態調査で、バス減便で影響が生じている生徒は全体の10%とのことだが、元々バスを利用する学生が少なかったとするとかなり的人数が影響を受けたのではないかと思う。</p> <p>→アンケートを実施すると、残った前後の便で工夫して通う人も多いが、家族送迎にシフトした学生も多かった。デマンドの時間帯の問題もあるし、コミュニティバスのルートの問題もあり、検討をしている。</p>	<p>コミュニティバスが路線バスに変わったという事だが、その中で残った「コミバス木部ルート」というのはどういうものか？</p> <p>→1路線だけ残った。これまで集落を巡回するような路線だったのが、直線に進むようにした。そのため空白地区が出てきたので、コミバスとして残した。朝夕のみの便のため大変利用が少なく、P2のグラフにもごく一部しか表現されていない。</p> <p>デマンドの利用が伸びない理由は予約の仕方なのか？</p> <p>→説明会では、事前予約が地域に馴染まないという意見をよく聞く。</p>	<p>バスの利用の中心は、高齢者と高校生だったと思うが、それら人たちの意向を踏まえた再編だったのだろうか。</p> <p>→踏まえたつもりだが、速達性を重視し過ぎたのかもしれない。</p> <p>今回の計画策定で、もう一度再編は考えているのか。</p> <p>→路線バスとデマンドの二本立てを決めた事なので、ルート・ダイヤを見直していきたい。</p> <p>高校生の課題を調査事業で具体的に調べてほしかった。しかし計画を見ると総花的な印象を受ける。進学や定住のために重要である。そのうえで自家用車からの転換が大事だが、それには市役所の人から実施するのが有用である。強い気持ちで取り組んでほしい。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
福井交通圏	<p>観光客と地元の移動手段を別々に考えるのではなく、一緒に考えられると良いと思う。</p> <p>ふくいMaaSの取組が上手く広がっていないということだが、良い事例を見ると担当者がしっかり説明会を開いている。</p>	<p>北陸新幹線の開通はインパクトがあって路線バスにも影響があると聞いたが、それは県外の人利用と思われる。外からの人を契機として、利便を増やした取り組みはあるか？</p> <p>→10か月で2割程度の増加だが、東尋坊への路線や福井駅から永平寺への路線は、平日・土休日共に利用者が伸びている。観光地のPRや日常利用の促進を行ってこの調子を続けていきたい。</p> <p>運転士が突発的に多く辞めたということだが、その事情は何か分かるか。</p> <p>→嶺北地域の京福バスは、これまでも合同説明会やPRを実施してきたが、改善基準告示などがあって無理な働き方ができなくなり、貸切から路線に回すことを進めたようだが、貸切は高齢ドライバーが多く、高齢ドライバーの働き方に合わなかったようで大きく辞めてしまったようだ。</p>	<p>圏域としての取組は何かされているか？</p> <p>→路線減便に対して、沿線市町や支局と一緒に緊急会議を開いてどの路線を優先的に残すべきか議論した。さらに今後の人の確保についても議論した。利用促進については、北陸新幹線開業に合わせてICカード導入・バス無料デーを実施した。秋には半額デーも行った。</p> <p>圏域の人たちが集まる場の設置は第一歩と思った。ダイヤの調整などは行っていないのか？</p> <p>→県で音頭を取るまでは行っていないが、市町のコミュニティバスについて、圏域を跨げないかという意見はあるので、それについては公共交通会議でそうした意見を出している。</p> <p>市町ごとに実施するのではなく、複数で連携して検討する場ができると良い。そのなかでふくいMaaSは一つのきっかけになると思うが、どのような機能があって、それは他市町は関係しているのか？</p> <p>→機能としては、デジタルきっぷの販売と利用、経路検索になっている。市町を跨いで利用はできる。デジタルきっぷは事業者の紙きっぷを拡げたものだが、これをさらに広げることは進めていきたい。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
<p>大野市公共交通活性化協議会</p>	<p>乗合タクシー利用者の低迷については、会員制の導入により、新規の利用者が確保できたかどうか判断材料になるが、増えているか？</p> <p>→新規利用者数は大きく増加していない。免許返納者をターゲットとしているが、免許返納支援、高齢者外出支援など市役所内もバラバラで動いているので、対象者にしっかり伝えていくことが課題と考えている。</p> <p>和泉地区は路線バスを短くして、デマンドをフィーダ一的にして乗り継ぐよう再編したと思うが、そのことで逸走した人はいないか？ かなり乗っていると理解して良いか？</p> <p>→1 便目は小中学生が通学利用しているので数字が大きくなっている。指標の見直しも考える必要がある。</p> <p>スクールバス以外の利用については芳しくないということであれば、分けて記載した方が良い。</p>	<p>評価指標は伸びているのか、悪化傾向なのか、それに対してどのように対応していこうと考えているか教えてほしい。</p> <p>→基本的には横ばいであるが、乗合タクシーは利便性向上でリピーター数は増加している。目標5の広域公共交通利用者数の JR 越美北線は減少傾向で、京福バスは減便により大幅減少している状況だ。</p> <p>そうした状況を踏まえて施策を検討してほしい。</p>	<p>「Do」の部分について、きめこまやかに工夫して取り組まれているが、資料に実績が書かれていないので、数字をきちんと記載して欲しい。</p> <p>自主返納者の支援事業は申請をすると何があるか？</p> <p>→市内の公共交通が無料で乗車できる。申請者は増加している。</p> <p>申請していない人はなぜ申請していないのか、必要としないのか使うことができないのか。他部署と連携して見ていただきたい。</p> <p>PR などの利用促進が必要というまとめが多いが、具体的にはどう進めるのか？</p> <p>→最初は地元説明会が重要と思ったが、知ってもらう以前に、役所の中で現状がおかしいと思うところを変えていく取組を進めていきたい。</p>

	委員1	委員2	委員3
勝山市生活交通地域協議会	<p>フルデマンドが好評とのことだが、予約の集中などの問題はないか？</p> <p>→当初は我々も通院時間帯に予約が集中するかと思うが、2地区とも平準化されたように感じている。</p> <p>デマンド化で予約が面倒で逸走することはよくあるが、何か工夫されたか？</p> <p>→各地区の集会所で周知を行った。また、荒土地区ではまちづくり会館（公民館）のサークル活動の前後時間にお邪魔して説明会を実施している。</p> <p>今後市内全域に広げていくと、距離が長い便ができる可能性があり、そうした便が占有されてしまう懸念がある。導入の際は慎重に検討してほしい。</p>	<p>フルデマンド運行は、どのような車両を使っているのか？</p> <p>→通勤用、ハイエースが各1台である。</p> <p>フルデマンドにすることで満足度は上がると思うが、収支率への影響はどうか？</p> <p>→3地域の路線を2台にしたため、それほど大きく悪化しているわけではない。</p>	<p>思い切った取組で珍しいケースである。目的地はどこか？ 今までの目的地とは異なる目的地になっていないだろうか？</p> <p>→病院やまちづくり会館（公民館）であるが、定時定路線であった時と同じような目的地になっている。</p> <p>普通はデマンド化で逸走する者であり、通院時間帯に集中するなどの課題も出てくるため、大変珍しい。ぜひうまくいった要因を調べて他の自治体に教えてあげてほしい。</p> <p>評価結果の中には厳しいものもあったが、Actについて評価結果と必ずしもつながらないものもある。ストーリーがあると良いと思った。</p> <p>公共交通の維持が14000円/世帯になっている。そうになると1人5千円近い費用になり、非常に高い金額と思った。</p> <p>→他市町の状況は把握していない。えちぜん鉄道への支援なども含めているため、高く見えるのかもしれない。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
福井県	<p>観光と地元の移動のバランスについては、県が音頭を取って欲しい。ハピラインは重要な基幹軸と位置づけて、地元でどう活用するかを検討をお願いしたい。</p> <p>嶺北地域の計画の中で、「2次交通のエンタメ化」を前面に出していて面白い。何か検討していることはあるか？</p> <p>→XR バスというのがあり、バスの改修費を県から支援している。他にもラッピング、スタンプラリーなど乗ること自体が楽しい、乗ることを目的としてもらいたいという趣旨だ。</p> <p>観光だけでなく、地元の人を楽しんでもらうものがあると良い。</p>	<p>嶺南地域は何か課題があるか？</p> <p>→福井鉄道も運転手不足は共通している。今後も減便が予定されている。</p> <p>定額タクシーはどのような目的のものか。何を支援しているか。</p> <p>→通常のタクシーとの差額を事業者に支援する。観光客がより安く市内を周遊できるためにという趣旨です。</p> <p>これを使う人は観光客が多いので補助しなくてもいい人ではないかと思った。</p>	<p>観光関係は面白い取組があり、効果が上がっていると思う。担い手不足も積極的に取り組まれている。県職員・市町職員の路線バス運転業務との兼業化は他にも事例があるか。</p> <p>→知事の就任と同時にできた制度で、運用の見直しを行った。実績としては記載の通りだ。</p> <p>自治体のデマンドや共助等の取組について、県としての取組、支援はあるか？</p> <p>→福井市における路線バス廃止に伴う緊急代替交通への財政支援をしている。</p> <p>自治体の共助の取組やライドシェアへの県からの支援制度はないか？</p> <p>→コミバスやデマンドなど、市町が実施するものへの支援制度はある。</p>